



第3回 西広島バイパス都心部延伸事業整備効果検討会 検討結果

本事業は、これまでの検討会で確認した整備効果に加え、津波発生時の避難経路強化等の防災機能向上や死傷事故の削減など、様々なストック効果が期待されることを確認した。

過年度算出の事業費について、高架橋の設計において技術基準が改訂され、新たな技術・材料が出現するなど、精査を行う必要が生じた事を確認した。

また、便益についても、設計時より期間が経過しているため、予測される将来交通量が変化しており便益を再度算出する必要があり、今後、費用対効果を確認することとした。